

科目名 (Eng)		製図法 (Drawing for Civil Engineering)							
担当教員		緑川 猛彦							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		建設環境工学科	1	通年	必修	2	(60)	専門	C
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(E-1)，(E-4) 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：5)								
授業の概要と方針		土木構造物の製図の基本を理解し，正しくわかり易い表現法を習得する。図面から立体的な構造物を想像できるとともに，立体の構造物を平面上に表現することができるようにする。							
到達目標		①製図に関する決まり事を理解する。 ②製図用の文字を描くことができる。 ③構造物の全体一般図を描くことができる。 ④構造物の配筋図を描くことができる。							
授業計画									
前期	週	授業項目		理解すべき内容				事前学習	
	1	製図の基礎と規約		製図について，製図用器具と用紙，線，文字，尺度，寸法					
	2	投影図		第三角法					
	3	課題 (1)		レタリング					
	4								
	5								
	6								
	7								
	8	課題 (2)		防波堤標準断面図のトレース					
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15	課題 (3)		橋脚構造一般図のトレース						
16									
17									
18									
19									
20	課題 (4)		RC単純床版橋全体一般図のトレース						
21									
22									
23									
24									
25	課題 (5)		RC単純床版橋上部工配筋図のトレース						
26									
27									
28									
29									
30									
試験について		前期試験，後期試験とも実施しない。							
評価方法		課題（線や文字の丁寧さ，美しさ，バランス等）70%と学習状況30%で総合的に評価する。							
教科書		土木製図基準 [2009年改訂版]，土木学会							
参考書		新土木製図練習ノート，土木製図研究会，実教出版							
関連科目		鋼構造設計演習，コンクリート構造設計演習							
履修上の注意		与えられた期限内に完成できるように，授業中は真剣に製図に取り組むこと。授業時間内の作業で完成できない場合には，放課後等を利用して製図を完成させ，必ず期限内に提出すること。図面を丁寧にできるだけ速く描けるように努力すること。							